

在セネガル日本国大使館月報

2024年3月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 2月26-27日に行われた国民対話により大統領選挙の日程が6月2日と提案されたのに対し、憲法評議会は違憲であるとの判断を下した。それを受け、6日、サル大統領は、大統領選挙を3月24日に実施することを決定した。(7日 Le Soleil)
- 7日、サル大統領は大統領選挙キャンペーンの期間を3月9日から22日までに設定すると決定した。(8日 Sud Quotidien)
- 9日、大統領選挙キャンペーンが始まり、アマドゥ・バ、イドリサ・セックら各陣営は選挙活動を開始した。(11日 Le Soleil)
- 14日、拘禁されていた野党旧 PASTEF のウスマン・ソンコと立候補者のバシル・ジョマイ・ファイは、恩赦により釈放された。15日、両者は記者会見を開き、選挙に勝てるとの公算を示した。(15日 Le Quotidien)
- 24日、大統領選挙の投票が平穩裏に実施された。25日、与党連合BBYのアマドゥ・バ候補がバシル・ジョマイ・ファイ候補に対する敗北宣言を行い、サル大統領はファイ候補の当選を称えた。(25-26日 Le Soleil)
- 27日、投票審査委員会は大統領選挙の暫定結果を公表した。バシル・ジョマイ・ファイ候補が54.28%、アマドゥ・バ候補35.79%を獲得し、ファイ候補が当選した。投票率は61.3%(有権者総数7,371,890人、投票者数4,519,253人)。(28日 Le Soleil)
- 29日、憲法評議会は、バシル・ジョマイ・ファイ候補の当選を正式に認定した。これにより、同候補がセネガル第5代大統領になることが確定した。(30日 Le Soleil)

(日本関連)

- 4日、在セネガル日本国大使館は、歌手のクンバ・ガウロ氏と共に、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ピキン市ピキン第17小学校増改築計画」にかかる資金贈与契約の署名式を実施した。(5日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 5日、国家選挙委員会の会長は、次期地方議会議員選挙を今年11月に開催することを提案した。(5日 expresso das ilhas)

ガンビア

- 15日、バロウ大統領は内閣改造を行った。観光・文化大臣、国土・地方行政・宗教問題大臣、初等中等教育大臣、情報大臣、石油・エネルギー大臣、内務大臣を新たに任命した。(18日 The Point)

ギニアビサウ

- 15日、エンバロ大統領は、中国との国交樹立50周年を記念して、これまでの二国間関係の発展を称えるメッセージを発出した。(17日 Radio Voz Do Povo)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 4日、サル大統領は3月26－27日に開催された国民対話の報告書を受け取った。選挙日程と4月2日以降の大統領ポストについては憲法評議会の判断に従うとの姿勢を示した。(5日 Le Soleil)
- 2月26－27日に行われた国民対話により大統領選挙の日程が6月2日と提案されたのに対し、憲法評議会は違憲であるとの判断を下した。それを受け、6日、サル大統領は、大統領選挙を3月24日に実施することを決定した。(7日 Le Soleil)
- 6日、サル大統領は内閣を解散し、カバ内務大臣を首相に任命した。(6日 大統領府 X)
- 6日、国民議会は政治犯への恩赦を認める一般恩赦法案を賛成多数で可決した。暴動やデモで逮捕された人物が対象となるが、具体的な人物は指定されない。(7日 Le Soleil)
- 7日、サル大統領は大統領選挙キャンペーンの期間を3月9日から22日までに設定すると決定した。(8日 Sud Quotidien)
- 8日、省庁の一部改編を伴う新内閣が発足し、3名が新入閣、2名が閣内異動、7名が退任した。総勢34名の内閣となった。(9日 Le Soleil)
- 9日、大統領選挙キャンペーンが始まり、アマドゥ・バ、イドリサ・セックら各陣営は選挙活動を開始した。(11日 Le Soleil)
- 14日、拘禁されていた野党旧 PASTEF のウスマン・ソンコと立候補者のバシル・ジョマイ・ファイは、恩赦により釈放された。15日、両者は記者会見を開き、選挙に勝てるとの公算を示した。(15日 Le Quotidien)
- 22日、シセ内務大臣は、24日の大統領選挙に5万人の治安維持部隊と2,400名の選挙監視員を動員するとし、総額140億 FCFA(約28億円)がかかるとの見通しを示した。(23日 Le Soleil)
- 24日、大統領選挙の投票が平穏裏に実施された。25日、与党連合BBYのアマドゥ・バ候補がバシル・ジョマイ・ファイ候補に対する敗北宣言を行い、サル大統領はファイ候補の当選を称えた。(25－26日 Le Soleil)
- 25日、ファイ候補は大統領選勝利の会見を開き、謙虚さと透明性を保ち、腐敗対策を進めていくことを宣言した。(26日 Le Soleil)
- 25日、ファイ候補の当選が最有力視される状況下で、マクロン仏大統領、ガズワニ・モーリタニア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領らは X 上で祝辞を送った。(26日 Le Soleil)
- 27日、EU 選挙監視団は記者会見を開催し、今次の大統領選挙は開かれたものであり、よく組織されたものであったとの評価を下した。(27日 Le Soleil)
- 27日、投票審査委員会は大統領選挙の暫定結果を公表した。バシル・ジョマイ・ファイ候補が54.28%、アマドゥ・バ候補35.79%を獲得し、ファイ候補が当選した。投票率は61.3%(有権者総数7,371,890人、投票者数4,519,253人)。(28日 Le Soleil)
- 27日、サル大統領は任期中の最後の閣議を開催し、ファイ次期大統領への権限委譲を円滑に進めるべく必要な措置を講じるよう大臣に指示した。(28日 Le Soleil)
- 28日、サル大統領は、バシル・ジョマイ・ファイ次期大統領とウスマン・ソンコを大統領府に迎え、権限委譲等について議論した。(29日 Le Soleil)

- 29日、憲法評議会は、バシル・ジョマイ・ファイ候補の当選を正式に認定した。これにより、同候補がセネガル第5代大統領になることが確定した。(30日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 2日、サル大統領はアルジェリアで開催された第7回ガス輸出国フォーラムの首脳会合にオブザーバーとして参加した。なお、大臣会合にてセネガルは正式メンバーに加盟することが決定した。(2日 大統領府 X)
- 8日、ガズワニ・モーリタニア大統領兼 AU 議長は、3月24日に大統領選挙を実施するとするサル大統領の決定を賞賛した。また、AU は選挙監視団を派遣することを公表した。(11日 Le Soleil)
- ECOWAS は、セネガル大統領選のため、ガンバリ元国連事務次長率いる選挙監視団130名の派遣を開始した。(18日 Le Soleil)

日本関連

- 4日、在セネガル日本国大使館は、歌手のクンバ・ガウロ氏と共に、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ピキン市ピキン第 17 小学校増改築計画」にかかる資金贈与契約の署名式を実施した。(5日 Le Soleil)
- 5日、日本大使公邸において、ソウ文化・歴史遺産大臣の出席の下、第 36 回俳句コンクールの授賞式が開催され、5名の入賞者が表彰された。(6日 Le Soleil)
- 16日、在セネガル日本国大使館と NGO ムラのミライとの間で、NGO 連携無償「ティエス州南部における土壌劣化防止と小農のレジリエンスを促進する農地生産性向上プロジェクト」署名式が行われた。(16日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 4日、カタールのホワイト・ロック・ホールディングズグループは、ソウ都市計画大臣と、セネガルにおいて5年間で10万戸の社会住宅の建設(30万戸までの拡張オプション付き)を行うパートナー契約を締結した。(5日 Le Soleil)
- 7日、アフリカ開発銀行は、セネガルの食料安全保障と小規模生産者の収入向上を目的に、2,000万米ドルをセネガルに供与することを発表した。(7日 APS)
- テイエス市とジャムニャジョ市を結ぶ鉄道が開設し、6-10日、開設記念として無料乗車のサービスが行われた。(9日 Le Quotidien)
- 20日、サル大統領は郊外高速鉄道の運営会社の代表と面談した。同社の代表は、2022年1月の運行開始から4,300万人の輸送客数、98%の運行時間厳守率を記録したとの報告を行った。(21日 Le Soleil)

(社会)

- 11日、セネガルスリム連盟の呼びかけにより、ラマダンが始まった。ラマダンと大統領選挙キャンペーンの時期が重なるのはセネガル史上初となる。(11日 APS、21日 L'Observateur)

カーボベルデ

- 5日、フレイレ国務大臣は、男女間で退職年齢が異なっていることから、女性の退職年齢を60歳から65歳に引き上げる計画を示した。(5日 noticias do norte)
- 国立統計研究所によれば、2023年の輸入製品の対前年比値上がり率は17.6%となり、前年の20%から低下した。(5日 noticias do norte)
- フォゴ島のモンテイロ市当局は、2月に47件のデング熱感染事例が確認されたことを公表した。(5日 balai CV)
- 5日、国家選挙委員会の会長は、次期地方議会議員選挙を今年11月に開催することを提案した。(5日 expresso das ilhas)
- 12日、カーボベルデとブラジル政府は政策協議を実施し、海洋・航空面での相互連携し、貿易関係を強化していくことを確認した。(12日 balai CV)
- 国立統計研究所は、2023年の国内の航空輸送客数が前年比で約19%、海上輸送が7.9%、陸上輸送が7.2%増加したことを公表した。(13日 balai CV)
- 18日、政府はインドとの間で、二国間政治・外交協議を行う場を定期的に設け、二国間協力を促進していくことで合意した。(19日 expresso das ilhas)
- 20日、ソアレシュ外務大臣は、まもなくロンドンに大使館を新設することを公表した。(20日 balai CV)

ガンビア

- 6日、アフリカ開発銀行は、食料と栄養状態の改善、家計所得の向上を目的に、1,200万米ドルの追加融資を行うことを決定した。(6日 The Point)
- 4-8日、ガンビアプレス組合の主要メンバーは、EUの支援を受けケニアでスタディーツアーを行った。現地ではケニアジャーナリスト組合からジャーナリストへの攻撃対策、組合運営の成功事例などの説明を受けた。(7日 The Point)
- 9日、バロウ大統領は電力生産に対する化石燃料の使用を削減すべく、バンジュール南西に23MWの太陽光発電プラントを建設することを決定した。(11日 The Point)
- 14日、世界銀行は、ガンビアの人材育成に対し約9,300万米ドルを拠出することを公表した。教育の質の向上、雇用アクセスの強化、社会的脆弱層への社会保障などに充てられる。(14日 The Point)
- 15日、バロウ大統領は内閣改造を行った。観光・文化大臣、国土・地方行政・宗教問題大臣、初等中等教育大臣、情報大臣、石油・エネルギー大臣、内務大臣を新たに任命した。(18日 The Point)
- 20日、バロウ大統領はUNICEFガンビア代表と教育、子どもの権利等について協議し、UNICEFによる教育支援への謝意を表明した。(20日 The Point)
- 21日、FAOは、農業分野の支援のため、2,340万ダラシ(約5,200万円)の供与することを決定した。(25日 The Point)
- 22日、政府と世界銀行は、農業のバリューチェーン開発事業に対し、6,800万米ドルの追加供与を行うことで合意した。同事業(4,000万米ドル規模)は2021年3月から5年の計画で始まった。(22日 The Point)
- 25日、バロウ大統領は、セネガル大統領選に勝利が有力視されるバシル・ジョマイ・ファイ候補に祝辞

を送った。(26日 The Point)

ギニアビサウ

- 5日、全国刑務官労働組合は、労働環境の改善を要求し、全土3箇所の刑務所において8日までのストライキを開始した。(5日 DW)
- 5日、政府とUNDPが開催する全国統計セミナーにおいて、全国の子どもの半数以上が出生登録されていない現状を受け、2030年までに国民全体の法的認知を進める計画について議論された。(5日 noticias ao minuto)
- 13日、教育大臣は、2023－2024年度の公立小・中学校の教員が不足していることを受け、新規に教員を補充することを宣言した。(13日 DW)
- 15日、エンバロ大統領は、中国との国交樹立50周年を記念して、これまでの二国間関係の発展を称えるメッセージを発出した。(17日 Radio Voz Do Povo)
- 19日、カシューナッツ販売キャンペーンの開始にあたり、バロス首相はカシューナッツの生産が国民の85%に関係するとした上で、不法流出対策を講じることを公表した。(19日 noticias ao minuto)
- 22日、グオ駐ギニアビサウ中国大使は、開発協力にかかる国家勲章を授賞した。同大使は、同賞は両国間の強い友好関係を象徴するものだとの発言を行った。(22日 O Democrata)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)